

北部機械金属業界の景況動向

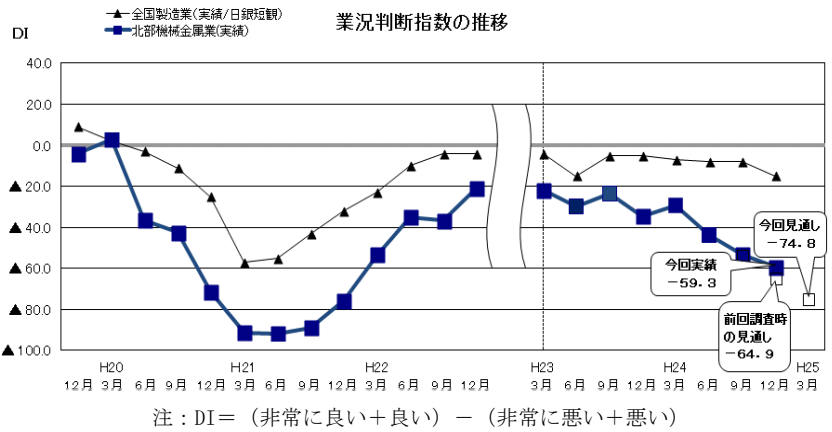
(2012年10~12月実績/2013年1~3月見通し)

- 調査対象：福知山市以北5市2町の機械金属関係企業283社 【調査時点 平成24年12月下旬】
- 回答数：114社（回答率40.3%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:16、舞鶴市:15、綾部市:16、宮津市・与謝郡:14、京丹後市:53
 - ②取扱別 = 一般機械:45、電気機械:11、輸送機械:25、精密機械:25、その他:8
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:43、10~19人:22、20~49人:28、50~99人:14、100人以上:7
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

－ 調査結果 －

1 景況動向判断

●10~12月実績のDI(業況判断指数)は-59.3となり、前回調査(7~9月分。以下「前回」という。)より▲6.2ポイント悪化した(前回-53.1)。地域別に見ても、福知山市域は-31.2(前回-23.1)、舞鶴市域は-57.2(前回-38.8)、綾部市域は-50.0(前回-62.0)、宮津市・与謝郡域は-78.6(前回-76.9)、京丹後市域は-66.0(前回-56.0)と、全ての地域でマイナスの値が続いており、北部地域全体の景況はさらに厳しくなっている。



●1~3月見通しのDIは-74.8と、前回より▲9.9ポイント悪化した(前回-64.9)。地域別に見ると、福知山市域は-56.3(前回-15.4)、舞鶴市域は-57.2(前回-61.1)、綾部市域は-81.3(前回-66.6)、宮津市・与謝郡域は-76.9(前回-92.3)、京丹後市域は-82.8(前回-61.2)と、全ての地域で悪い見通しとなっている。

景況動向判断 10~12月実績

全体	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
7.1	26.5	49.6	16.8		
福知山市	18.8	31.2	50.0		
舞鶴市	7.1	28.6	42.9	21.4	
綾部市	12.5	25.0	56.3	6.2	
宮津・与謝	21.4	50.0	28.6		
京丹後市	9.6	26.4	49.1	20.7	

景況動向判断 1~3月見通し

全体	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
4.5	16.2	67.6	11.7		
福知山市	12.5	18.7	68.8		
舞鶴市	7.1	28.6	50.0	14.3	
綾部市	18.7	81.3			
宮津・与謝	23.1	53.8	23.1		
京丹後市	9.6	9.6	71.2	15.4	

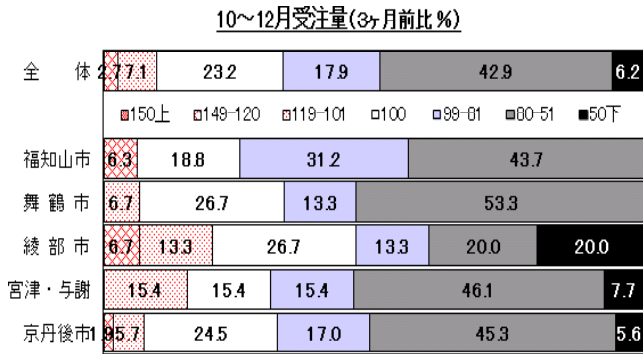
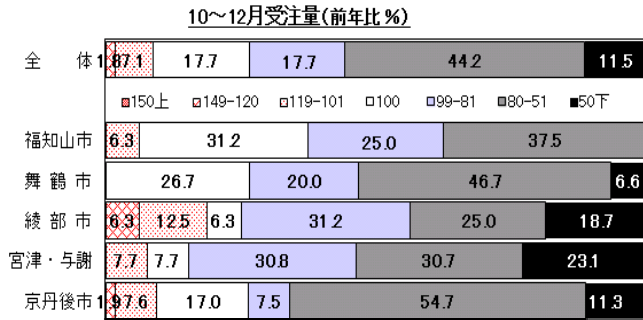
2 採算状況

●10~12月の採算状況は、黒字とする企業が19.5%(前回21.7%)、赤字とする企業が42.5%(前回38.3%)と、赤字企業が黒字企業を上回る厳しい状況が日常化している。地域別では、福知山市域では黒字とする企業の割合が半分以上を占めているが、その他の地域は赤字とする企業の割合が4割以上となっている。

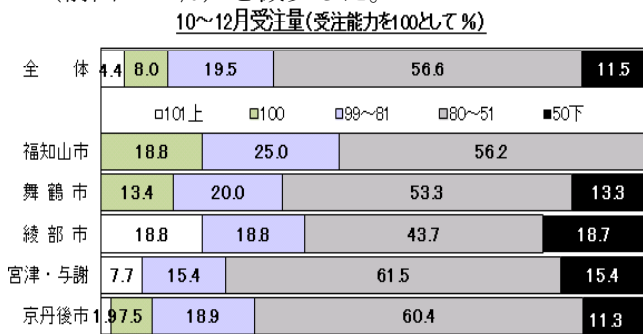
10~12月採算状況

全体	黒字	トントン	赤字
19.5	38.0	42.5	
福知山市	56.3	37.5	6.2
舞鶴市	6.7	40.0	53.3
綾部市	13.3	46.7	40.0
宮津・与謝	42.9	57.1	
京丹後市	18.9	33.9	47.2

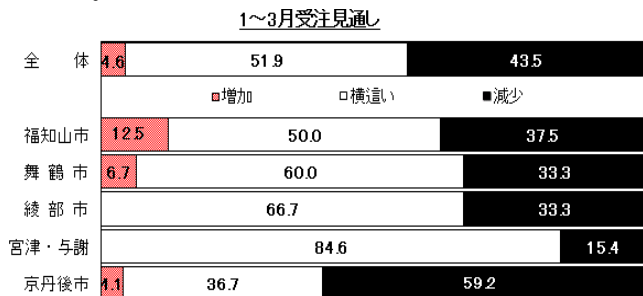
3 受注量



- 10~12月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は26.6%（前回30.4%）と減少した。特に、宮津市・与謝郡域では対前年同期比100%以上を確保できた企業は2割以下にとどまった。対3ヶ月前比100%以上を確保した企業も33.0%（前回40.5%）と減少した。

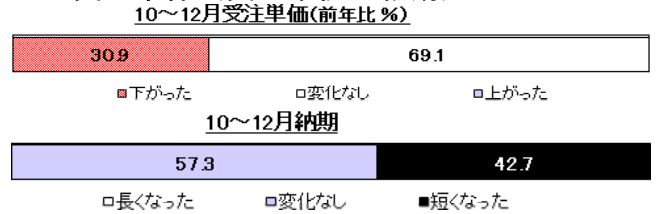


- 10~12月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は12.4%（前回17.7%）と減少した。地域別では、すべての地域で8割以上の企業が受注能力比100%の仕事量を確保できておらず、特に、宮津市・与謝郡域及び京丹後市域では9割以上の企業が受注能力比100%の仕事量を確保できていない。



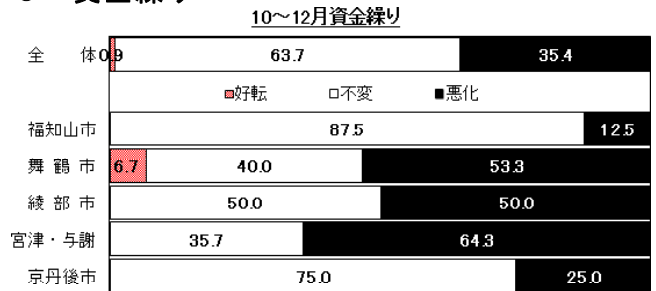
- 1~3月の受注見通し（左下図）は、減少と見込む企業の割合が43.5%となった（前回42.7%）。綾部市域及び宮津市・与謝郡域では、増加を見込む企業は皆無となっており、京丹後市域では減少を見込む企業が6割弱を占めている。

4 受注条件（受注単価／納期）



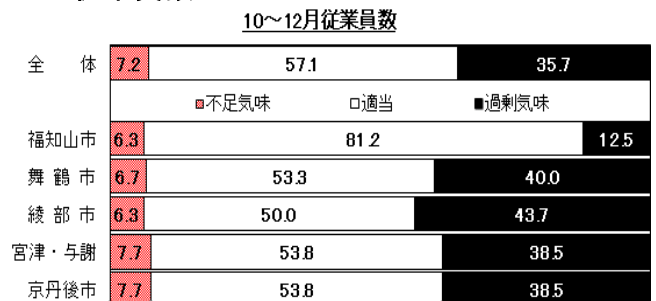
- 受注単価が下がったとする企業は30.9%（前回23.2%）、納期が短くなったとする企業は42.7%（前回38.9%）と、前回調査以上に厳しい状態になっている。また、納期が長くなったとする企業が無くなった。

5 資金繰り



- 資金繰りは、不変とした企業が63.7%（前回66.9%）となった。地域別では、舞鶴市域以外では好転とした企業は皆無であり、悪化とした企業の割合は宮津市・与謝郡域で最も高くなっている。

6 従業員数



- 従業員数は、不足気味が7.2%（前回6.2%）、過剰気味が35.7%（前回28.6%）となった。地域別では、舞鶴市域及び綾部市域では4割以上の企業が過剰気味としている。